

作成年月日	令和3年9月22日
作成部局課室名	健康福祉部健康増進課

「ひょうご認知症希望大使」の委嘱及び当事者からのメッセージ動画

1 概要

- (1) 兵庫県では、「認知症の人も安心して暮らせるまち」をめざし、認知症の人本人が、講演会や会議等の場で体験や思いを語る本人発信の機会を拡大させることにより、認知症への社会の理解を深めるよう、今年度、「ひょうご認知症希望大使」の制度を創設した。
- (2) 世界アルツハイマーデーである9月21日に、本県の第1号の大使として、古屋 一之（ふるや かずゆき）氏（63歳・三田市）に委嘱した。
初めての委嘱となることから、委嘱式（委嘱状交付式）を開催することとしていたが、緊急事態宣言の延長を受け、解除後、時期等を調整し開催する。（感染防止対策徹底の上、取材可とする予定）
- (3) コロナ禍において、ご本人の言葉を広く県民に届ける手段として、古屋氏出演の当事者メッセージ動画（3パターン（50秒、約7分、約15分）を作成し、広く発信する。（県ホームページにて順次公開中）

2 古屋 一之 氏について

(1) プロフィール

- ・昭和33年生まれ。兵庫県出身。
- ・平成29年、59歳の時に、アルツハイマー型認知症と診断を受ける。
- ・現在は就労継続支援B型事業所で働きながら、認知症の講演・啓発活動等を行う。
- ・趣味 陶芸（やってみたいと思っていた陶芸に、診断後チャレンジ。外出の契機となった。）



古屋 一之 氏

(2) 県とのかかわり

平成30年度から県施策にご協力いただいている。

- ・兵庫県若年性認知症自立支援ネットワーク会議への出席
- ・若年性認知症とともに歩むひょうごの会への参画
- ・サンテレビ「ひょうご発信！」への出演 等

今後は、さらに、健康づくり審議会に新設の認知症対策部会の委員に就任（10/22開催予定）いただくなど、本人の希望や体調に合わせ、会議への参画・普及啓発活動等を行っていただく。

〔問い合わせ先〕健康福祉部 健康増進課認知症対策室 認知症対策班 TEL 078-362-3188